

健康なときも、そうでないときも
一番に思い出してもらえる存在で
ありたい—



環境経営レポート 2021 株式会社 平野

対象期間 2020年9月~2021年8月

目次・・・・・・・・・・・・・1
 株式会社平野のあゆみ・・・・・・・・1
 環境経営方針・・・・・・・・・・2
 SDGs への取り組み・・・・・・・・3
 組織の概要・・・・・・・・・・4
 実施体制と役割分担・・・・・・・・5
 対象範囲、期間及び発行日・・・・6

環境経営計画・・・・・・・・・・7
 環境経営目標（2021～2023 年度）・・・8
 取組結果とその評価・・・・・・・・9
 次年度環境経営計画・・・・・・・・16
 環境関連法規への違反・訴訟の有無・・・17
 代表者による全体評価・・・・・・・・18

株式会社平野のあゆみ

- 1980 年 創業
- 1983 年 平野調剤薬局オープン
- 1990 年 本社ビル（[平野屋薬局](#)）建設
- 1996 年 [平野グリーン薬局](#)オープン
- 1998 年 [平野拝志薬局](#)オープン
- 2002 年 [平野あさくら薬局](#)オープン
- 2005 年 けんこう広場（健康支援部門）開設
- 2007 年 在宅医療チーム立ち上げ
- 2010 年 環境宣言策定
- 2012 年 [まつだ薬局](#)オープン
- 2013 年 エコアクション 21 認証取得
- 2015 年 [平野ごう薬局](#)オープン



- 2018 年 健康サポート薬局認定取得（6 薬局）
SDGs への取り組み開始
- 2019 年 平野調剤薬局を[平野みらい薬局](#)として
リニューアル→地域 ESD 拠点登録
管理栄養士部門立ち上げ
- 2020 年 健康経営優良法人 2020 取得
太陽光発電自家消費開始（3 薬局）
- 2021 年 再エネ 100 宣言加盟

環境経営方針

《会社経営理念》

私たちは常に学習に努め、社員満足と資質向上を原動力に、今治の地に根を張った薬局業務を創造発展させ、保険調剤&ヘルスケアで地域の皆様の QOL(生活の質)の向上に貢献します。

《基本理念》

平野薬局は、環境に影響を及ぼす物質の使用・排出削減に努め、健康で環境にやさしい生活習慣の提案とその実践に役立つ商品とサービスを提供し、地域の皆様の QOL（生活の質）の向上に貢献できるよう、継続的改善に積極的に取り組みます。

《基本方針》

①社員・経営陣の意識向上

一人一人がエコ活動を積極的に実施できるよう、社員教育・組織体制の整備等を通じ、社員・経営陣の地球環境保全に対する意識を高め、環境基本理念、基本方針を共有する。経営者のネットワークを活用して、エコ活動の幅を広げる。

②薬局・薬剤師の職能を活かす

地域の皆様の相談に応じられるよう、専門的知識の習得に努める。
多剤服用による健康への害を予防し、ポリファーマシーの解消に努める。
医薬品管理を徹底し、廃棄薬剤を減らす。

③環境関連の法を遵守する

環境に関する法律・政省令・条例等を遵守し、環境保全の向上に努める。

④省エネルギー・省資源・廃棄物の削減を推進する

電気・ガス・水道等のエネルギー使用量、紙類・レジ袋使用量等の削減に取り組み、二酸化炭素等の温室効果ガスの排出総量、廃棄物等の削減に努める。

⑤地域の自然環境との調和を目指す

地域の環境保全活動、社会貢献活動等にも積極的に参加し、美しい地域環境作りに貢献する。

⑥環境啓蒙活動を展開する

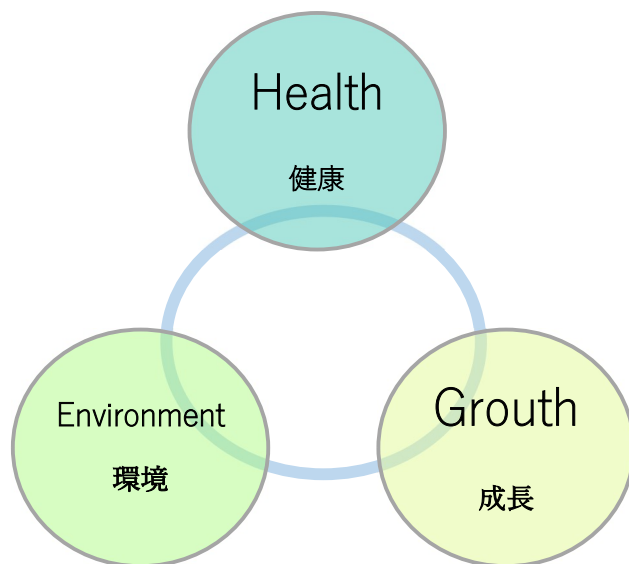
環境方針を全従業員に周知するとともに、環境情報や環境保全の重要性を積極的に社外へも公表・発信する。

制定 2011年4月1日

改訂 2018.9.1（第2回目） 株式会社平野 代表取締役 松田 泰幸

SDGs への取り組み

株式会社平野は、7つの調剤薬局全店でSDGsのゴール17個全ての実現を目指して取り組んでいます。地元今治から地球の豊かな自然をそのままに、次世代の子どもたちへと引き継いでいきます。

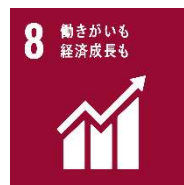


4つの重点ゴール



平野薬局の本業である保険調剤 & ヘルスケアで、患者様の立場に立った治療のサポートや病気にならないための健康支援を行います。

保険調剤・ヘルスケア・健康教室・在宅医療



資質向上と社員満足を原動力に、また、健康経営を内外に広め働き甲斐のある人間らしい仕事を達成します。

健康経営・業務改善・ICT導入・10年ビジョン



地域の教育機関と連携し、インターンシップや職場体験を通じて子どもたちに働くことについて考える機会を提供。また社内の環境を整備し、社員の生涯学習の機会を促進します。

実務実習・インターンシップ・社内研修会



地域の多職種と連携した仕事づくりや地域医療体制づくりなど、若者や高齢者等様々な世代の人たちが“帰れる”まちづくりに取り組みます。

地域医療連携・新卒採用・仕事づくり

組織の概要

1) 事業所名及び代表者氏名

株式会社 平野

代表取締役 松田 泰幸

2) 事業所所在地

平野屋薬局(本店) 〒794-0028 愛媛県今治市北宝来町 2-2-22

平野みらい薬局 〒794-0028 愛媛県今治市北宝来町 2-4-6

平野拝志薬局 〒799-1502 愛媛県今治市喜田村 6-5-14

平野グリーン薬局 〒799-1522 愛媛県今治市桜井 4-12-27

平野あさくら薬局 〒799-1603 愛媛県今治市朝倉下甲 452-3

平野ごう薬局 〒794-0826 愛媛県今治市郷新屋敷町 3-1-42

まつだ薬局 〒794-0064 愛媛県今治市小泉 4 -11-11

3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者氏名：森松 千晴

担当者連絡先：0898-32-0255

4) 事業活動の内容

保険調剤薬局(電子薬歴導入)

薬局製剤および要指導・第一～三類医薬品の販売

在宅薬剤管理業務実施

禁煙相談、栄養相談等

5) 事業規模

資本金 : 3000 万円

営業拠点：今治市内に調剤を主とした薬局 7 店舗

従業員 : 薬剤師 16 名、事務 12 名、管理栄養士 4 名

環境経営の実施体制と役割分担



環境経営レポートの対象範囲、期間及び発行日

1) 対象範囲（認証・登録範囲）

平野屋薬局、平野みらい薬局、平野ごう薬局、平野グリーン薬局、平野拝志薬局、平野あさくら薬局、まつだ薬局

活動は、薬局既存の組織体制を活用しながら、店舗ごとに活動単位を構成しています。各店舗に現場担当者“環境委員”を配置し、経営指針会議やグループウェアでの意見交換等を通じ、コミュニケーションを図っています。

全社員が参加する年3回のチェックの会で進捗状況を確認し、随時情報を提供して意見交換を行っています。



平野屋薬局



平野みらい薬局



平野ごう薬局



平野グリーン薬局



平野拝志薬局



平野あさくら薬局



まつだ薬局

2) レポートの対象期間及び発行日

レポートの対象期間 : 2020年9月～2021年8月

レポートの発行日 : 2022年1月1日

環境経営計画

※一今期追加

1) 二酸化炭素排出量の低減

- ・夜間、休日はパソコン、プリンター等の主電源を切る。
- ・空調の適温化に努める。(ただし、医療機関であるため、来局者が不快でない温度設定。
また夏場休日中に高温にならないよう医薬品の適正な温度管理。)
- ・片づけを始める前に冷暖房を停止する。(装置内の熱を有効利用)
- ・タイムマネジメント表に基づいて準備・片づけ時には不要な電気を消灯する。

2) 廃棄物排出量の削減

- ・グループウェア・メールの利用等、文書の電子化に取り組む。
- ・メモ用紙などは裏紙を使用し、封筒の再利用等を行なう。
- ・薬品購入の包装単位を検討し、廃棄する空箱・段ボール等の量を減らす。
- ・バラ錠購入を検討し、一包化の効率化と PTP シートのごみ削減を図る。

3) 節水

- ・節水ポスターを掲示し、手洗い、洗い物、歯磨き等において日常的に節水を励行する。

4) 防災対応

- ・防災対応マニュアル・フローチャートを活用して防災訓練を実施する。
- ・緊急時連絡網を作成し、非常時の訓練を行う。

5) 社員・経営陣の意識向上

- ・40 期に再エネ 100 宣言を出せるよう、宣言企業の事例を学習する。
- ・経営者のネットワークを活用して、エコ活動の幅を広げる。

6) 薬局・薬剤師の職能を活かした組織本来の取り組み

- ・多剤服用による健康への害を予防し、ポリファーマシーの解消に努める。
- ・学校薬剤師活動や学生実習の受け入れを通じて、青少年に薬の適正使用や企業の環境への取り組みを伝える。
- ・IT ツールを活用した適正な在庫管理により、廃棄薬剤を減らす。

7) 環境啓蒙活動の展開

- ・医薬だよりにエコに関するページを毎月掲載する。
- ・スタッフブログや SNS を通じて環境活動や環境保全の重要性を積極的に発信する。
- ・地域 ESD 拠点として環境事業部と協力し、イベントを開催する。
- ・with コロナ時代に、SNS を活用した新たな活動方法を検討する。

環境経営目標（2021～2023 年度）

今後も新型コロナウイルス感染症予防対策をとりながらの業務が予想されるため、中期環境経営の数値目標を下記の通り定めます。

なお事業の会計年度に合わせ、前年 9 月を年始として翌 8 月までとしています。

（例：2020 年度=2019 年 9 月～2020 年 8 月）

項目	単位	基準年 (2020 年度)	中期目標		
			2021 年度	2022 年度	2023 年度
二酸化炭素排出量	kg-CO2	47613.7	48439.2 (+約 1.7%以内)	48026.4 (+約 0.9%以内)	47613.7 (基準年並み)
電気使用量	kWh	80080.0	81681.6 (+2%以内)	80880.8 (+1%以内)	80080.0 (基準年並み)
再エネ率	%	実績なし	23	23	23
廃棄物排出量	kg	5618.8	5501.9	5477.0	5445.1
リサイクル率	%	73.8	約 77	約 78	約 79
水使用量	ℓ	338	401	401	401

※電力の CO2 排出量については、四国電力の調整後排出係数 0.528(kg-CO2/kwh)を使用（四国電力発表 2018 年度実績に基づく）

* 二酸化炭素排出量…電気使用量の数値目標より換算。2020 年 8 月に 3 薬局に太陽光パネルを設置し、2021 年 9 月に RE100 宣言を行う予定で二酸化炭素排出量を調査中。

* 電気使用量…タイムマネジメント表に基づいて不要な電気を消灯するなど取り組みを行った上で、定期的な換気が必要なため冷暖房効率が下がることによる電気使用量の増加を考慮し、基準年比 2021 年度+2%以内、2022 年度+1%以内、2023 年度で基準年並みとし、感染症対策を第一としてゆるやかに基準年度へと電気使用量を戻すことを目標とする。

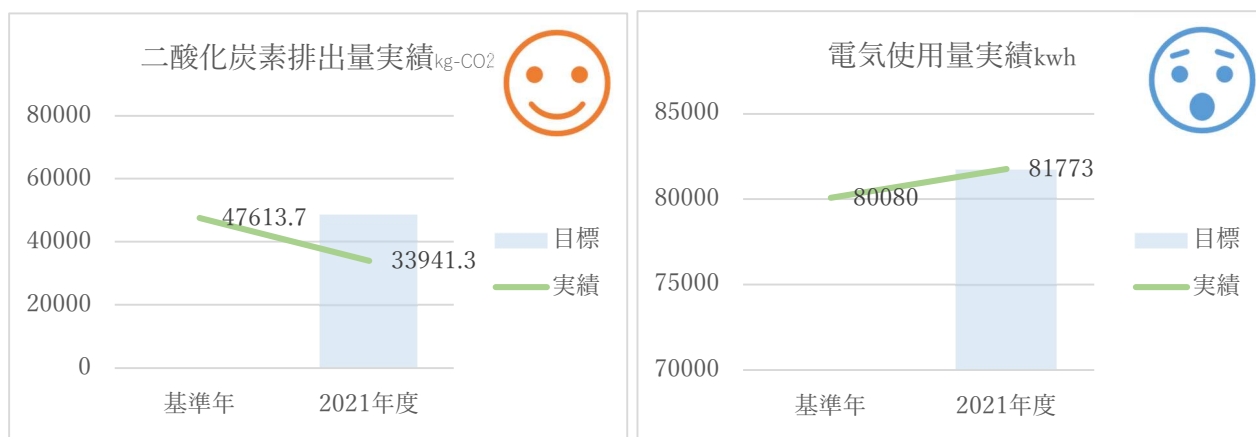
* 再エネ率…電気使用量のうち、太陽光発電による再生可能エネルギー利用率の割合。2021 年度に RE100 宣言後、目標を見直す予定。

* 廃棄物排出量…薬局毎に数値目標を設定し、目標を合算。

* 水使用量…感染防止対策のため、手洗いうがいや清掃、消毒の徹底を最優先。基準年比+18.6%以内に抑えることを目標値とする。

取組結果とその評価

<二酸化炭素排出量の低減>



取組み内容	結果
夜間、休日はパソコン、プリンター等の主電源を切る。	○
空調の適温化に努める。(医療機関であるため、来局者が不快でない温度設定。また夏場休日中に高温にならないよう医薬品の適正な温度管理。)	○
片づけを始める前に冷暖房を停止する。(装置内の熱を有効利用)	○
タイムマネジメント表に基づいて準備・片づけ時には不要な電気を消灯する。	△

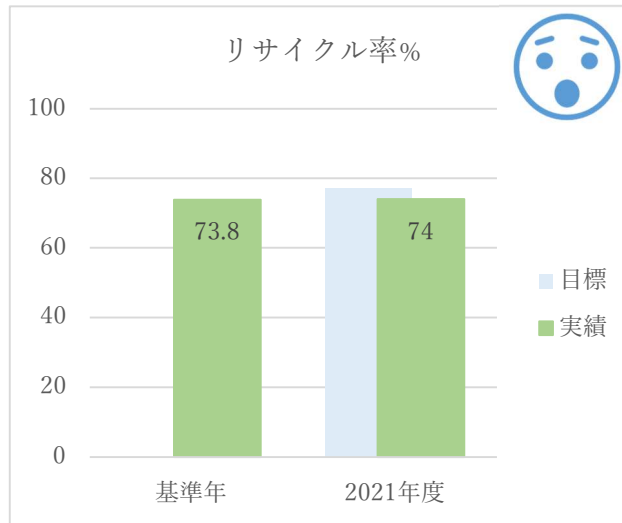
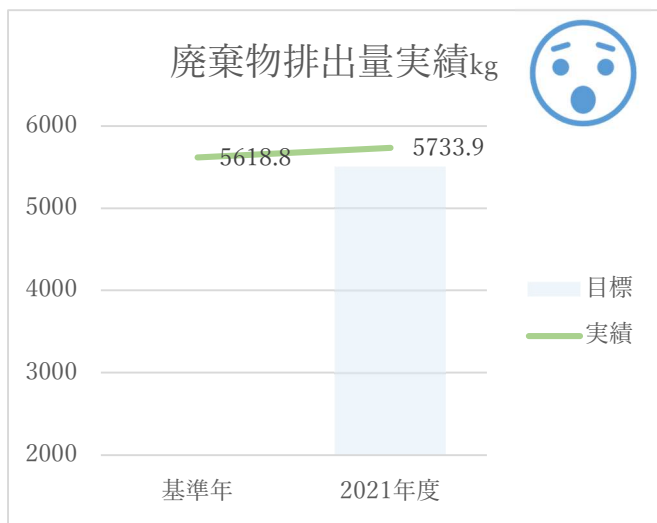
2021年8月に、全社的に使用する電気を再エネ由来電力へと切り替えました。これにより、二酸化炭素排出量は目標を大きく上回り基準年比-30%の削減となりました。

電気使用量（自家発電の電気使用量も含む）は、昨年に引き続きコロナ禍の感染対策を行いつつ節電に取り組んできましたが、目標値をやや上回る結果となりました。季節ごとの電気使用状況見ると、気候の安定した春秋はほとんどの店舗で基準年を下回っていたので、やはりエアコンを使用する夏冬の換気による空調効率低下が電気使用量の増加に影響していると考えられます。取組みの工夫としては、グリーンカーテンを設置したり、時間帯によってロールスクリーンを下ろしたりして、夏の日当たりによる高温化に対処しました。一方、複数の薬局で来局者が利用するトイレの電気をつけっぱなしになっていたこともあり、こまめな点検が必要です。

今後も引き続き、タイムマネジメント表を用いた節電に取り組んでいきます。



< 廃棄物排出量の削減 >



取り組み内容	結果
グループウェア・メールの利用等、文書の電子化に取り組む。	○
メモ用紙などは裏紙を使用し、封筒の再利用等を行なう。	○
薬品購入の包装単位を検討し、廃棄する空箱・段ボール等の量を減らす。	△
<u>バラ錠購入を検討し、一包化の効率化と PTP シートのごみ削減を図る。</u>	△

廃棄物は医薬品の包装が多くを占めています。薬局ごとに来局者数が大きく異なり、それによって廃棄物の量も薬局ごとに異なるため、今年度から削減数値目標を各薬局で設定しました。全社合計の廃棄物排出量実績は目標値をやや上回る結果となりました。可燃・不燃・資源化ごみの内訳を見ると特に可燃ごみの割合が増加しており、感染予防のため手洗いや清掃・消毒の回数が増えたためと考えられます（衛生を考慮し、手拭きはペーパータオルを使用）。分別が習慣化してリサイクル率は基準年より向上しましたが、可燃ごみの増加により目標の 77%には届きませんでした。

医薬品の包装単位やバラ錠での購入に関しては、各薬局で使用量の多い薬剤を調査し変更可能なものは変更しました。一方で、大包装で購入することで廃棄のリスクも大きいことから慎重な検討が必要です。今後は、書類類のデータ化をさらに進め紙類の排出量削減に努めます。



使用量が多い薬剤は包装単位を変更。患者様が飲みやすいように一包化するため PTP シートから取り外す薬剤も、効率化と廃棄物削減の為、可能なものはバラ錠での購入に変更。

< 節水 >

取り組み内容	結果
節水ポスターを掲示し、手洗い、洗い物、歯磨き等において日常的に節水を励行する。	○

感染拡大で来局者が減少したためか、水使用量が減少。今後も漏水のチェックとこまめな手洗い・清掃に取り組めます。



< 防災対応 >

取り組み内容	結果
防災対応マニュアル・フローチャートを活用して防災訓練を実施する。	○
緊急時連絡網を作成し、非常時の訓練を行う。	○

県下一斉に行う地震発生時の安全確保訓練“シェイクアウトえひめ”にあわせて、各薬局で11/26～12/11の期間に安全確保訓練を実施。併せて「防災・減災マニュアル」に基づき、避難所までの経路確認や被災時に患者様がいた場合の避難誘導手順について確認しました。

緊急時の安否確認についても告知なしでテスト

メールを一斉送信し、社員や家族の安否確認の訓練を行いました。全員からの返信を確認できたものの、近年の無料通話アプリ等の普及とともにメールの確認頻度が下がっており、返信が長時間なかった社員もいたので今後はメール以外のツールも検討が必要です。また、「大規模災害時 BCP」の見直し・改訂を行いました。

< 社員・経営陣の意識向上 >

取り組み内容	結果
<u>40期に再エネ100宣言を出せるよう、宣言企業の事例を学習する。</u>	○
経営者のネットワークを活用して、エコ活動の幅を広げる。	○

担当者が再エネ100宣言REAction事務局と懇談し、宣言加盟の意義や国内企業の脱炭素化の取り組みなどを学習し社内で共有を行いました。2020年8月に3つの薬局で太陽光発電による自家消費を始めたCO2削減効果も大きく、電気使用によるCO2排出の抑制が重要との共通認識



2021年5月に再エネ100宣言に加盟。

その後、8月に会社で使用する電気をすべて再生可能エネルギー切替。

識が出来ました。そのため再生可能エネルギー由来の新電力への切替の検討と同時に、2021年5月に再エネ100宣言に加盟しました。

環境事業部は、所属している経営者団体「愛媛県中小企業家同友会」の会員や四国EPOと共に

エネルギーの地産地消について学習を重ねました。学習会有志メンバーにより、2021年5月には県内での再生可能エネルギー普及に取り組む合同会社が設立され、企業の枠を超えた取り組みが展開されています。

< 薬局・薬剤師の職能を活かした組織本来の取り組み >

取り組み内容	結果
多剤服用による健康への害を予防し、ポリファーマシーの解消に努める。	○
学校薬剤師や学生の実習受け入れを通じて、青少年に薬の適正使用や企業の環境への取り組みを伝える。	○
IT ツールを活用した適正な在庫管理により、廃棄薬剤を減らす。	△

* ポリファーマシーの解消

薬剤師は患者様に服薬指導を行う際、薬の副作用や多剤服用による体調への影響を確認して薬学的判断に基づき医師への処方提案、フィードバックを行っています。一人ひとりに合った服薬指導によるアドヒアランス向上や医師との連携により、

より高い治療効果の発現やポリファーマシーの解消につながっています。2021年度は466件の残薬調整や重複投与の防止を行い、薬の適正使用や副作用の防止に寄与しました。

* 学生の受け入れ

8月23日に、なかよし学童クラブの子どもたちが平野みらい薬局の見学に訪れました。SDGs 担当者が子どもたちに薬局でのSDGsの取り組みやプラスチックフリー商品の紹介を行いました。プラスチックフリー商品は子どもたちだけでなく引率の先生方も興味深々でした。



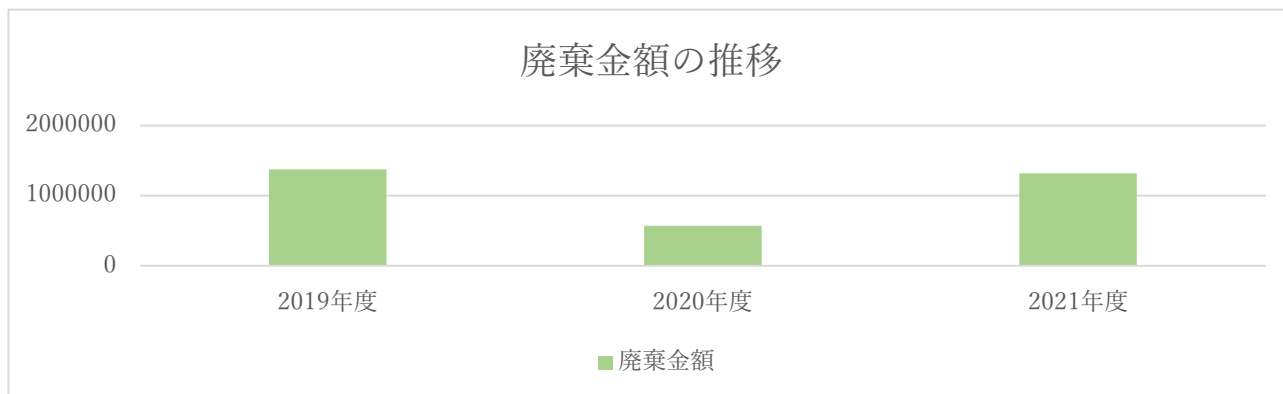
* IT ツールを活用した在庫管理

株式会社平野では発注システムにより全店舗の不動在庫をリアルタイムで確認しています。システムの導入から数年が経ち、不動在庫を把握して

早期に他の店舗で使用する業務の流れが出来ています。

2021年度の期限切れ等による薬剤廃棄金額は1,315,433円でした。昨年度に比べて大きく増加する結果となりました。期限の長さや価格が薬品によって異なり、処方薬の変更もあるため一概に比較できませんが、システム導入により効率的に

在庫管理が出来るようになりました。廃棄薬剤の削減は環境面でも経営面でも非常に重要なポイントなので、今後もシステムをさらに有効に活用して廃棄薬剤の削減に取り組んでいきます。



< 環境啓蒙活動の展開 >

取り組み内容	結果
医薬だよりにエコに関するページを毎月掲載する。	○
スタッフブログや SNS を通じて環境活動や環境保全の重要性を積極的に発信する。	○
地域 ESD 拠点として環境事業部と協力し、イベントを開催する。	○
<u>with コロナ時代に、SNS を活用した新たな活動方法を検討する。</u>	○

* 医薬だより

毎月来局患者様向けに発行している「医薬だより」に、エコに関する記事の掲載を継続し、環境への意識の啓発や家庭でできるエコ活動の紹介、災害への備えの啓発を行いました。スタッフブログ「KEIZO 区 (ケイズク)」にも掲載し、来局者だけでなく幅広い世代への情報発信を継続することが出来ています。

* SNS での発信

SNS を活用し、グリーンカーテンの成長記録や平野みらい薬局で取り扱っているプラスチックフリー商品の紹介、地球環境問題などの情報発信を行っています。

「医薬だより」発行月と内容

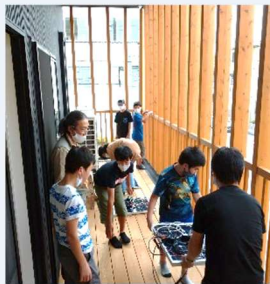
9月	「プラスチックフリー」な暮らし始めてみませんか？
10月	グリーンカーテン
11月	バイオマスマーク
12月	「シェイクアウトえひめ」に参加しましょう！
1月	エコドライブ10のすすめ
2月	新しいエコのカ・タ・チ
3月	衣類廃棄量を減らそう！
4月	プラスチック新法案が可決されました
5月	傘をすてきにリメイクしてみませんか
6月	グリーンカーテン
7月	サステナブルスニーカー

***ESD 拠点としての活動&with コロナ時代の新たな活動**

昨年に引き続き環境事業部と協力して“健康と環境を考える”をコンセプトに、地域に向けたイベントを実施しました。2020年9月には、愛媛大学の教授を講師に招いて太陽光発電の仕組みを学べる親子ワークショップを行いました。その後は、

コロナ禍で集まって開催することが難しい状況であったためオンライン形式で開催。オンラインで開催することにより地域の方だけでなく全国から参加があり、従来の現地開催では参加が難しかった遠方の方も参加できるメリットがありました。

✿9月開催 「太陽の光で電気を作る～ミニ発電所を作ってみよう!～」✿



平野みらい薬局で開催。エネルギー問題や地球温暖化、気候変動による自然災害といったSDGsにつながる講義を受けたあと、太陽の光をどうやって電気にするのかという発電の仕組みを、実際の装置を組み立てて学習しました。少し難易度の高い内容でしたが、自分たちで組み立てたソーラーパネルで発電した電気で扇風機が動く様子を見て、電気やエネルギーについて身近に考えるきっかけになりました。

✿4月開催 「春だ!野草をとって食べよう」✿

オンライン開催。野草のレクチャーを受け、それぞれが自宅の周辺に野草を探しに。採ってきた野草のおすすめ調理法を聞いて、各自調理・実食しました。

♪参加者の感想♪

住んでいる近所にはあまり自然がないと思っていたが、野草探しをしてみると意外と身近に緑があることが分かった。調理した野草もおいしかった♪



✿5月開催 「おうちでグリーンカーテンを育てよう」✿

オンラインで開催。グリーンカーテンに向いている植物講座や、肥料・水やりなど育て方のコツを紹介。平野各薬局でもグリーンカーテンを設置し、成長の様子をSNS等で紹介しました。

対象：小学生以上+大人
定員：15名
参加費：無料
お申込先：
hiranokankyou@gmail.com
(お申し込み時に、お名前、お子様と一緒に参加の場合はお子様の学年、年度イベントをお知りになったかをお知らせください)
お申込受付後、イベントのZoomアドレスをお送りいたします。

夏を涼しく乗り切るためのエコなへちまグリーンカーテン。
上手なグリーンカーテンの育て方や、収穫後のへちま活用術をレクチャーします♪

平野薬局かんきょう風車



グリーンカーテンで収穫したへちまはたわしにして薬局で販売

*その他の取り組み



健康と環境にやさしい生活スタイルの提案のため、プラスチックフリー商品の販売を開始。



ビーチクリーンしまなみ主催のスポーツごみ拾いに社員有志で参加。



学童クラブの子どもたちが平野みらい薬局を見学。SDGsの取り組みやプラスチックフリー商品について紹介。

Education for Sustainable Development
**或ESD活動推進拠
 流会 ~LS 四国と共に~**

と教育の現場では、さまざまな主体が地域や社会の
 る学びや活動に取り組んでいます。そうした現場の
 進する組織・団体等を「地域 ESD 活動推進拠点
 ）として登録する制度があり、四国では教育機関や
 および12団体が登録されています。
 各 ESD 拠点の事例紹介や「地域循環共生圏」とい
 う概念を通して、これからの四国の在り方を共に
 にぜひご参加ください。

2020
11月26日
 13:00~16:00 (12)

【対象】
 ① 地域 ESD 拠点および地域 ESD 推進
 組織・団体

四国ESDフォーラムやSDGsセミナーに会
 長がパネリストとして登壇。環境経営や気
 候変動への対応について紹介。

平野薬局の取り組みが
 WEB 記事で紹介されました！

愛媛地球温暖化防止センターの WEB マガジンの取材を受けました。
 平野薬局が SDGs や環境経営に取り組む思いや会社として目指している将来像などをお話しています。



SDGs連載【第7回】薬局の看板にSDGs？保険調剤薬局がSDGsに取り組む理由とは！？／今治市 平野薬局

© 2021.8.10

次年度環境経営計画

※一来期追加

1) 二酸化炭素排出量の低減

- ・夜間、休日はパソコン、プリンター等の主電源を切る。
- ・空調の適温化に努める。(ただし、医療機関であるため、来局者が不快でない温度設定。また夏場休日中に高温にならないよう医薬品の適正な温度管理。)
- ・片づけを始める前に冷暖房を停止する。(装置内の熱を有効利用)
- ・タイムマネジメント表に基づいて準備・片づけ時には不要な電気を消灯する。

2) 廃棄物排出量の削減

- ・グループウェア・メールの利用等、文書の電子化に取り組む。
- ・メモ用紙などは裏紙を使用し、封筒の再利用等を行なう。
- ・薬品購入の包装単位を検討し、廃棄する空箱・段ボール等の量を減らす。
- ・使用済みインクカートリッジのリサイクルに取り組む。

3) 節水

- ・節水ポスターを掲示し、手洗い、洗い物、歯磨き等において日常的に節水を励行する。

4) 防災対応

- ・防災対応マニュアル・フローチャートを活用して防災訓練を実施する。
- ・緊急時連絡網を作成し、非常時の訓練を行う。

5) 社員・経営陣の意識向上

- ・経営者のネットワークを活用して、エコ活動の幅を広げる。
- ・環境経営に関する社外向け活動や外部からの評価を、社内にフィードバックする。

6) 薬局・薬剤師の職能を活かした組織本来の取り組み

- ・多剤服用による健康への害を予防し、ポリファーマシーの解消に努める。
- ・学校薬剤師活動や学生実習の受け入れを通じて、青少年に薬の適正使用や企業の環境への取り組みを伝える。
- ・IT ツールを活用した適正な在庫管理により、廃棄薬剤を減らす。

7) 環境啓蒙活動の展開

- ・医薬だよりにエコに関するページを毎月掲載する。
- ・スタッフブログやSNSを通じて環境活動や環境保全の重要性を積極的に発信する。
- ・地域 ESD 拠点として環境事業部と協力し、イベントを開催する。
- ・外部との意見交換の機会を設定し、地域への SDGs 浸透を図る。

環境関連法規への違反・訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は以下の通りです。

適用される法規制	摘要される事項（施設・物資・事業活動）
フロン排出抑制法	エアコン、業務用冷蔵庫、給湯器
廃棄物処理法	一般廃棄物、使用済み注射針、吸入容器
グリーン購入法	薬局内備品類
容器包装リサイクル法	薬袋、レジ袋
浄化槽法	浄化槽（平野グリーン薬局）

当事業所に適用される関連法規等の遵守状況を点検した結果、違反・訴訟等はありませんでした。今後も環境関連法規と社会的欲求事項を進取し、適時改善を行なって更なる環境保全活動の制度の向上を図ってまいります。

代表者による全体評価

昨年に引き続き新型コロナウイルスが世界中で猛威を振るい、社会経済は深刻な打撃を受け、多くの企業がかつてない危機に直面している。ワクチン接種が始まり感染状況は減少傾向に転じたものの、次々と現れる感染力の強い変異株や社会的措置の緩和等により、今なお地球規模での感染拡大が続いている。同時に、地球温暖化にも歯止めがかからず、異常気象が続き、全国各地で災害が多発し、本格的な対応が急務となっている。専門家からは「自然破壊や温暖化で野生動物が追い詰められた結果、野生動物と共存していたウイルスは人の社会に入り込み、密集した都市から世界の隅々に広がった」という指摘があり、「人」「動物」「生態系」の健康をひとつと捉え、それぞれがバランスよく健全にあるべきとする「ワンヘルス」の考え方が、次のパンデミックを防ぐカギにもなるとされているが、持続可能な社会を目指す動きについては達成状況に偏りや遅れがあり、SDGsを達成するため2020年からスタートした「行動の10年」は新型コロナの影響であるべき姿からはほど遠い状況である。

今期の弊社の取り組みについては、5月に「再エネ100宣言 REAction」に加盟し、8月からは全ての薬局で使用する電気を再生可能エネルギー100%の電力に切り替えた。今回契約した「みんな電力株式会社」では、再生可能エネルギーを購入する発電所を指定することができるため、環境にやさしいだけでなく地域内にエネルギー購入費用を循環させることも実現している。再エネ由来電力への切り替えにより、基準年比-30%の削減となったものの、目標値に対してはやや上回る結果となった。可燃ごみの割合についても増加傾向となったが、いずれも換気や手洗い、消毒・清掃などの薬局内の衛生管理や感染予防の徹底が原因であり、それ以外の項目については概ね目標達成できている。

また、環境事業部門を中心にESD活動推進拠点として様々な活動を行い、平野会長が全国のオンラインフォーラムなどにも登壇した。4月には合同会社「青い国RE」が設立され、平野会長が代表社員に就いた。関係機関とつながりをつくりながら、再エネ事業の推進や営農、街づくりに取り組んでいく。

過去のパンデミックは、新しい価値観の創造と社会の大きな変革をもたらしてきた。今回の新型コロナも社会の抱える課題を浮き彫りにし、人の価値観や生き方、産業構造の大きな転換をもたらしつつある。引き続き健康で環境に優しい暮らしの提案と実践に取り組み、これらを地域に情報発信できるスタッフを育成していきたい。

2021年9月5日
株式会社平野
代表取締役 松田 泰幸